



大崎幼稚園卒園式



2月定例会/目次

新議会議員	一般質問	予算審議	平成17年度予算	2月定例会
16	6 ~ 15	4 ~ 5	3	2

おおさきかみじま 議会だより

第8号/2005年4月1日

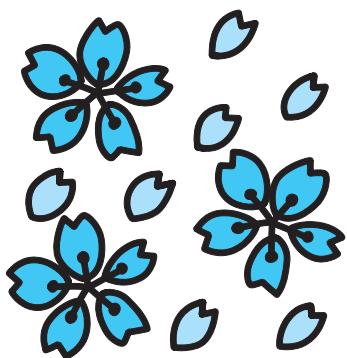
大崎上島町議会

☎ (08466) 5-3130 (直通)

FAX (08466) 5-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

E-mail: gikai @town.osakikamijima.hiroshima.jp



2月定例会

平成17年第1回大崎上島町議会定例会は、2月14日から28日までの会期で開きました。

町長の所信表明を受け、活発な論議を展開しました。この定例会では平成17年度一般会計、11の特別会計をはじめ、条例改正、16年度2月補正予算など多くの議案を審議しました。提案された条例、予算等については原案どおり可決されました。

2月定例会で決まった主なこと

○2月補正予算について

一般会計は歳入歳出それぞれ246,160千円を減額し、歳入歳出予算総額を9,177,680千円としたことなどを可決した

○豊田地方税整理組合の解散について

○大崎上島町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例について

○大崎上島個人情報保護条例について

○大崎上島町干拓地への建設残土の受け入れに関する手数料条例について

平成17年度一般会計

79億840万円

歳入

(単位：千円)

区 分			17 年 度
財 源 内 訳	1	町 税	1,633,928
	2	地 方 譲 与 税	91,044
	3	利 子 割 交 付 税	3,866
	4	配 当 割 交 付 金	1,173
	5	株式等譲渡所得割交付金	622
	6	地 方 消 費 税 交 付 金	89,790
	7	自 動 車 取 得 税 交 付 金	31,340
	8	地 方 特 例 交 付 金	28,015
	9	地 方 交 付 税	2,165,000
	10	交通安全対策特例交付金	969
	11	分 担 金 及 び 負 担 金	109,816
	12	使 用 料 及 び 手 数 料	65,022
	13	国 庫 支 出 金	552,863
	14	県 支 出 金	661,680
	15	財 産 収 入	4,624
	16	寄 付 金	6
	17	繰 入 金	887,849
	18	繰 越 金	1
	19	諸 収 入	154,998
	20	町 債	1,425,800
歳 入 合 計			7,908,406

歳出

(単位：千円)

区 分			17 年 度
1	議 会 費		97,731
2	総 務 費		1,138,825
3	民 生 費		1,570,729
4	衛 生 費		819,026
5	労 働 費		18,000
6	農 林 水 産 業 費		701,935
7	商 工 費		110,079
8	土 木 費		789,348
9	消 防 費		397,257
10	教 育 費		915,860
11	災 害 復 旧 費		638
12	公 債 費		1,345,977
13	諸 支 出 費		1
14	予 備 費		3,000
歳 出 合 計			7,908,406

特別会計予算 (単位：千円)

国民健康保険事業	1,247,104
介護保険事業	1,169,698
老人保健事業	2,073,579
簡易水道事業	755,436
公共下水道事業	351,004
農業集落排水事業	41,456

漁業集落排水事業	296,664
港湾管理事業	15,673
漁港管理事業	5,688
交通事業	61,517
干拓地管理事業	10,471

主なやりと

問 滞納整理するうえで、新たな滞納を作らないための努力はしているのか。

答（税務課長） 事務処理上各課と連絡を取り合って実施している。

問 滞納者に対するペナルティーを考えているのか。

答（町長） 悪質な方に対しては一定の制限を加えることも必要かと思う。今後考えていく。

問 屯所のNHK 受信料とあるが、5ヶ所だけである。他の屯所はどうなっているのか。

答（総務課長） 各消防団の部と協議する。

問 有害鳥獣駆除対策で一頭につき7,000円となっているがイノシシだけなのか。

答（農林水産課長） タヌキも対象で一頭3,500円です。

問 介護保険の特別会計の繰出金が年々増額となっているが、今後の対応は。

答（福祉課長） 介護給付費は増えているが、それは保険料で賄っている。今回の

増額は審査会や事業の策定等の費用です。

問 二次災害救急体制の枠組みや県補助金の今後の見通しは。

答（保健衛生課長） 枠組みは従来どおり、県補助金も決定ではないが、前年度と同じという通達があった。

問 新町建設計画にある第一次産業の後継者育成の予算が組まれているが、今後の考えは。

答（農林水産課長） 今後は農業委員会や農業振興協議会等から意見をいただき県の補助事業を活用していきたい。

問 後継者問題と合わせて若者定住、住宅政策にかかわる予算はあるのか。

答（町長） いくつかの町の普通財産として位置づけられているものを活用できるか検討していきたい。

問 小・中学校の不登校や児童相談所に相談したケースはどのくらいか。その支援体制の予算はどこに入っているのか。

答（教育長） 1・2件です。

商船へカウンセラーが定期的に来るので、それを活用させてもらえるよう協議している。

問 人権推進の予算があるが十分活用されていないのではないか。

答（社会教育課長） 人権教育の講演会は1回程度を予定しているが、あらゆる場面で人権が尊重され、意識が育まれる内容にしていきたい。

問 交通問題に関して、時刻表の変更などがあった場合すぐに対応できる機関が必要ではないか。

答（町長） 単町で協議会をつくるより、大きな視野、たとえば竹原広域などでの議論も必要かと思う。

問 有害鳥獣駆除について、農業対策だけでなく、居住地域への対策はできないのか。

答（町長） 現時点では全てを対象にするのは難しい。

問 西野小の複式の状況、大崎中の危険など早急に取り組まなければいけない問題ではないか。

答（教育長） 保護者の意見はかなり出尽くした感じですので、今後は行政で決断、理解を得られるための取り組みを進めていく。

問 厳しい財政状況であると思うが、補助金等どの程度減額となっているのか。

答（町長） 町税の減もあるが、普通交付税は少し増えます。ただ、支出の方が大きいので、財政調整積立金を今年度も7億円ほど使い、

この調子でいくと来年も同額ほど使い、数年で基金がなくなることになる。そうならないよう運営していく。

問 火葬場の運営を改善してもらいたい。

答（町長） 適正な管理を行っていく。

問 イノシシ対策の減額は農家への被害を増やすことにならないのか。

答（町長） 補助金の対象者が34人と限られるので若干の節減をお願いしたい。

わが町の予算

問 長寿会館が古いから建築するというのはわかるが、他の集会所との兼ね合いも考える必要がある。これに限らず、旧町単位での支出がまちまちである。きちんと洗い出しをして、整理するべきではないか。

答（町長） 組織の中で、課の連携が十分なされずにきているというのは十分承知している。3月には新しい予算に向けて職員間の意志の疎通や各団体に対しての説明ができるので、そこを踏まえて執行していく。

問 長寿会館を町が建設した場合、今後、各区にある集会所が老朽化したとき、どういう対処の仕方をするのか。

答（町長） 公共施設として整備するとき、受益者負担ができればよいが、できない場合は、町として、建替えについて考えざるを得ない。

問 光ファイバーについて、これは町の所有する財産であるのに、値下げするのも業者と協議がいる。また、

使用料も業者が徴収し、町の収入とならないというのはおかしいのではないか。

答（町長） 確かに町有財産ですが、管理と維持の委託契約をしており、町では精通した職員がいないので管理ができない。あくまで契約の中で実施しているので、問題はない。

問 使用料の内税の消費税はどのようにして納めているのか。未納の水道料の消費税はどのような扱いになるのか。

答（町長） 企業会計では納税しているが、普通会計では公共団体は納税義務者ではない。消費税法の中で定めており、収入も支出も消費税を払っているので、相殺になっている。未納は会計年度で精算する。

問 市町村合併推進交付金の今後の見通しは。

答（町長） 県は3年間で7億5000万円、国は1億8000万円、活用している。

問 若者定住について、効果があったのか。起業家の

育成、定住施策に通勤費の補助などはどうか。

答（企画課長） 各団体で有効に使っている。企業家の育成については予算計上していない。通勤費の補助については大きな問題ですので協議していく。

問 町営住宅の修繕費の額が減っているが、対応できるのか。

答（建設課長） 無駄のない修繕に努めたい。

問 木江の先野賀住宅では駐車場が少ない。何か取り組みはしているか。

答（建設課長） 住宅の活用計画策定業務をして、町営住宅の今後の整備、管理について検討します。駐車場についても合わせて考えていく。

問 成人式は1月4日が定着しつつあるが、多くの出席を考えるなら他の日にちを考えるべきでは。

答（社会教育課長） 欠席は商船の学生が多く、来年度も1月4日に予定している。

問 町営共同墓地の事業費は毎年のものなのか。賃貸

契約と聞いているが、何区画で、どこで会計処理されているのか。

答（保健衛生課長） 毎年の委託料としている。今回の契約は返還分10区画です。墓地の管理基金条例で処理している。

問 木江工業の寄宿舎跡地の利用が16年度の補正でだがどのように利用するか。

答（助役） 地元造船所の従業員宿舎として売却予定です。

問 他の議員からも指摘があったが、樋門の管理が各課に分かれたりと今までのいきさつで管理が違うのを統一してもらいたい。

答（町長） 管理・土地利用の視点から検討していきたい。

問 給食センターの統合は考えているのか。

答（教育長） 現時点では考えていないが、中学校の統合等将来的には検討をしていかなければならない。

町政を問う



質問（熊佐議員）

今後の財政状況は非常に



くまさ たかのり
熊佐 尊徳 議員

答

節減を進めています

問

特別職等の報酬・給料などの見直しは

厳しいものであると思います。しかし、補助金のカットや、政策が進まないのであれば、特別職や議員、職員などの報酬・給料・手当の見直しをするべきではないか。

中でも、職員の残業手当は、職員数から言って半減できる。経費の削減についてどのように考えるか伺います。

答弁（町長）

機構の中で管理職手当ての削減等実施して、節減ということを進めております。

時間外も職員の業務の調整で整理をしています。ただ、選挙などの時間外は数百万円と大きな支出になり、その年度の時間外的大幅増となる要因になります。

マスクミで話題となつてくる従来からの慣習的な諸手当は、当町では全くありません。

質問（渡辺議員）

①現在の大串砂搬入用ポン



わたなべ としのり
渡辺 年範 議員

答

今までの経緯も踏まえ対応していく

問

大串土砂搬入用ポンツーンについて

② ツーンの所有者は誰か
③ 漁協に対する海面使用料
600万円は誰がどのよう
に払っているのか
③ 平成17年4月1日より契
約更新する予定だが、1
社抜けている現在、誰が
どのような契約内容で支
払うのか

答弁町長（町長）
① 契約では、搬入事業中は町が所有者です。
② 町と漁業共同組合の契約で町が支払い義務者となつている。ただし、搬入業者との契約の中で、陸揚げ施設の管理に伴う費用が不足の場合は搬入業者の負担となつているので、搬入業者が支払つたものを漁協にしらつていふというのが実情です。
③ 裁判係争中ですが、1社



大串ポンツーン

抜けているところは町の所有ということになる。今後の対応は現在使用している2社と町が協議して明確に定めていくべきだと考えている。今までの経緯もあるので、細かいことまで明記したようなもので対応していきます。

一般質問

危機管理体制の強化について

消防団員の補充などに努めます



望月 住夫 議員

質問（望月議員）

平成16年は災いの都市となった。台風の上陸は10回続いて中越地震、暮にはスマトラ沖地震による大津波自然の猛威には勝てない。次の点について伺いたい。

- ①消防団員の補充について
- ②ハザードマップは作成済みか。
- ③防災士を置く考えは。
- ④防災訓練の必要は。
- ⑤招き扉の補修は何年度終了予定か。

答弁（町長）

①消防団員の定数は360名で現在20名の欠員と

なっており、地域の方との協力を得ながら充足数を満たしてまいります。

- ②ハザードマップは現作成中で、昨年の高潮による浸水等状況が把握できたので早急に作成します。
- ③防災士については上島町内にまだいませんが、研修センターで研修を受け資格を取得させます。
- ④防災訓練については9月1日が防災の日となっており、全県的訓練があるので消防署・消防団と連携をとりながら啓発に努めます。
- ⑤招き扉の件ですが、一応県の考え方は応急的な対策を含め3年をめどに改善に努めると聞いております。

再質問（望月議員）

防災訓練については全国各地で行っております。特に地震による津波災害を受けた各地では常に真剣な訓練を実施し、2度と犠牲者を出さないよう努力されております。

訓練をしておけばよかったのということがないよう町の努力を期待します。



県道矢弓付近

問 県道の高潮対策について

答 他の地区にもあるので県に要望します

質問（望月議員）

県道大崎上島循環線の矢弓区海岸は、春秋の大潮時には海水が浸水し通行不能となる。（約200m）交通最も多く、迂回する道がなく、旧県道は狭小で大型車通行不能、やむを得ず浸水した道路を走る車があります。この道路は昭和35年ごろ

完成し、杭打ちはしておらず粗朶^{そだ}工法で施工したもので、年々沈下しています。

答弁（町長）

旧木江地区にも同じ状態の県道があります。海水が流れ込む招き扉等まず改良し、順次かさ上げを行うよう県へ要望します。

問 地元産品・地元商店の積極的活用を

【答】 基本的に地元で購入しています



なかむら しゅうじ 議員 中村 修司

質問（中村議員）

地域活性化への取り組みとして、「地産地消」があるが、学校給食や高齢者配食サービスに利用する計画はあるか。

行政が発注する物品購入について、地元商店の扱い率は。今後の方針を伺います。

答弁（町長）

昨年、東広島地域産地消推進連絡会を設置され、産品を地域が消費する活動も推進し取り組んでいます。

学校給食は学校給食会があるが、地元の商店から購入するものもある。福祉施設や行政は、食品・消耗品類は町内の業者から購入している。

問 子どもの安全ネットワーク構築を

【答】 考えていきたい

質問（中村議員）

子どもの安全確保にネットワークシステムを検討してはどうか。災害や事故、不審者の情報などを受け取り、危険を未然に防ぐものです。導入についてどのように考えますか。

答弁（町長）

田舎だから安全とは考えていない。考えていきたい。

答弁（教育長）

ネットワークシステムは台風などの災害時にも活用できるので、研究していきたい。

問 県道の歩道整備について

【答】 県へ強く要望していきます

質問（中村議員）

町内の道路には歩道がないかあるいは、不十分な歩道しか整備されていない。町として、今後の整備計画は。

答弁（町長）

県道の歩道の整備率は45%である。県へは要望しているが、財政の関係で実施できていない。今後も強く要望していきます。

問 学校教職員の島外通勤率の改善を

【答】 努力したい

質問（中村議員）

島という地域性の中で、町内に在住して子どもにかかわって教育活動のできる教職員の割合を増やすことについてどう考えるか。

答弁（教育長）

地元の教職員が少ない学校もあるので、県教育委員会の

方針もあるが危機管理の面もあるので、改善していきたい。

問 町営住宅の条件整備について

【答】 整備するよう進める

質問（中村議員）

住宅整備のマスタープランが策定されたと聞きました。

答弁（町長）

- ① 公営住宅240戸、農集集落排水12戸、合併浄化槽124戸、単独浄化槽34戸、未整備70戸で、下水処理の整備率は70%で、今後、公共下水と接続できれば整備していきたい。
- ② 駐車場は240戸に対して106台分で充足率は50%です。今後整備を進めていきたい。
- ③ 町営住宅の駐車場は。有無の割合は。整備されていない住宅の今後の計画は。

問 耳鼻科・眼科の早期開始を

【答】 遅くなるようであれば手立てを考える

質問（中村議員）

耳鼻科・眼科の出張診療の医師を確保でき、現在、東野保健センターの利用目的の変更許可を待っていると聞いている。許可と診療開始の時期は。

答弁（福祉課長）

まだ回答を待っている状態です。

答弁（町長）

結論があまりに遅いようであれば、新たに建設するということも含め考えていきたい。

問 フェリーの低料金化について

答 若干の改善はされました



はなと つゆこ 議員
鼻 露子

質問（鼻戸議員）

町民は日頃から通勤・通学・通院等々でフェリーにはお世話になっています。利用者にとって低料金の実現は大きな願いです。どのような考えか伺います。

答弁（町長）

フェリーの利便性の向上と料金の低廉化は住民の大きな願いだと十分認識しています。交通問題協議会で論議を進めております。

その中で、若干ですが改善されたのは、2割引き回数券の有効期間が2ヶ月から6ヶ月に運用されたこと



フェリー

と、往復切符の垂水―白水の差額料金の軽減があります。フェリー航路は竹原だけではなく、大西―安芸津、木江の航路もあります。航路の全体的な収益のこともあります。島である限りある問題ですので、今後も協議し対岸の市に対しても働きかけていきたいと考えています。

問 各区要望事項の聞きとりについて

答 現場確認はしました



さかば やすお 議員
坂場 康雄

質問（坂場議員）

各区の要望事項の調査があったので、実現を期待していたが、来年度予算に反映していない。

聞くだけで終わりの要望調査は区民に失礼ではないか。

答弁（町長）

要望の中で、すぐ対応できるもの、時間がかかるものの、国・県へ要望するもの等ありますので、ある程度まとめるのに時間がかかった。回答書を作るよう指示し、対応している。

答弁（総務課長）

回答が遅れ、お詫びします。ヒアリングの実施は難しいので、現場確認は担当各課で行いました。

問 公共工事の入札について

答 適正に執行しています

質問（坂場議員）

最近の入札をみると設計金額に対して大幅に切った額で落札をしているケースがあると聞きました。

落札額が20%以上も切るということは予算の組み方がずさんなのか、業者の問題なのかわかりませんが、このことを町長はどう考えるのか。

答弁（町長）

公共工事には設計基準もありますし、補助事業は監



公共工事

査もありますので、さまざまな設計を組むことはない。ただ、最近は設計もかなりシビアになっている。業者についても指名委員会で審査基準を設け、指名している。業者間の競争も厳しいので、最低制限価格を決め、下回ると失格としている。仕様書どおりに執行すると25%を切って落札すると厳しいと認識している。

問 下水道整備事業について

〔答〕 事業費は見直しがあります



もりわ けんじ 議員

〔答弁（町長）〕 事業内容は同じです。

〔再質問（森若議員）〕

〔質問（森若議員）〕 12月議会で質問した答弁資料について、誤りがないか再度伺いたい。

〔再質問（森若議員）〕 計画の対象人口が資料によって変わっている。最終事業年度が延びて、事業費も増えたりするし、どういうことなのか。公共下水の戸数が増えたのは、脇之浦や大田などを入れているのではないのか。

問 補助金・負担金・出資金について

〔答〕 状況に応じて考える

〔質問（森若議員）〕

合併後3回目の予算編成で財政が厳しい状況である。その中で、各種団体の補助金・負担金・出資金についていつまでも今までと同じということはできないと思うがどうでしょうか。

〔答弁（町長）〕

全国的に財政的に危機的な状況になりつつある。削減については、可能な部分を協力してもらっている。

〔再質問（森若議員）〕

補助金の中でも特定のと

〔再答弁（上下水道課長）〕

計画書はあくまで計画で、工事が終了して、事業費が確定しないと償還率がでないで、推計で作成しているの、見直しすると変わってくる。旧東野を公共下水の対象地域にすることは今のところ考えていない。



下水道工事

ところで、他町ではなくなるような補助金の出し方を考えるのが良いか伺います。

〔答弁（町長）〕

状況というのは変化するので、その時点で変化に応じて考える。

問 下水道事業について

〔答〕 検討します



のぶた しげあき 議員

〔答弁（町長）〕

受益者負担と行政の補助との兼ね合いを考えなければならぬ。

〔答弁（上下水道課長）〕

〔質問（信谷議員）〕 各下水道事業が終了した後で、新築の家を建築する場合、公共マスの加入はどうなるのか。

事業実施後は実費になるということとは説明しています。工事費は単独町費となるので、特別会計からは難しい。しかし、定住促進等の考えから他会計からの検討が妥当であろう。

問 予算編成について

〔答〕 お詫びします

〔質問（信谷議員）〕

新年度予算の編成については町長部局でよく話し合っているのか。説明が不十分すぎる。これらについてどう考えているのか伺います。

〔答弁（町長）〕

町の責任は町長である私ですので、反省しお詫びいたします。今後は気を付け、相談させていただきます。

問 町民との対話の必要性について

答 考えていく



たにもと まさし 議員 谷本 昌

質問（谷本議員）

町民の願い、意見を聞き町政に反映させることが必

要ではないか。

行政懇談会等を開催し、町民と島の将来について話し合いを持つべきでは。

答弁（町長）

旧町の行政懇談会みたいなのは難しいが、行政や地域の課題という内容の懇談会であれば、考えていきたい。

問 宇浜県道改良の問題点は

答 取り組んでいます

質問（谷本議員）

宇浜の県道改良もかなり進みました。今後も関係があると思測される住民とも積極的な話し合いをしては。

答弁（町長）

話し合いの場を持ちながら進めているが、住宅事情や安全面の問題など地元の要望を、県へ強くお願いしているところです。

問 町民の健康管理を積極的に

答 進めていきます

質問（谷本議員）

町民には健康に不安を持つ人が多い。合併以前は、各町で色々な教室を開催していたが、その後少なくなったと言っている。専門の職員も多いので、活用して進めて欲しい。

答弁（町長）

健康増進事業は非常に重要だと考え、合併後、保健師、管理栄養士を含め6人ということで、活動としては充実していると思います。町民の健康が医療費の軽減にもつながるので、行政も啓発、事業を進めていきます。

問 旧木江小、山側の町道の改善

答 全体を考え検討します

答弁（谷本議員）

旧木江小跡への健康増進施設の建設に伴い山側に車道を作るべきと提案しました。しかし、計画は、校門側にある町道と連絡していません。結ぶべき考えるかどうかでしょう。

答弁（町長）

道路だけではなく、水路や土地のかさ上げなどの問題もありますので、そのことも含めて検討していきます。

質問（谷本議員）

町民は定期バスの運行に不満を持っています。

町長は補助制度があるうちは今までどおり、それを利用するということが、町民の利用に主眼をおいたバス運行を考えるべきではないか。



路線バス

答弁（町長）

17年度に現在の路線バスを基本にしてコミュニティバスを試行運行する予定です。



宇浜県道

問 町長の選挙公約について

〔答〕 従来からの目標です



あがまつ よしお 議員
赤松 良雄

質問（赤松議員）

大崎上島町が合併して2年が過ぎようとしています。町長選挙時に公約したこと

について、この2年間でどのように実施したのか伺います。

答弁（町長）

選挙公約は木江町長選挙に立候補したときから一貫した目標です。合併した3つの地域を知る過程の中で、理解しあってそれをまとめ、ていくことが大事だと考えています。

問 新町建設計画について

〔答〕 いくつかは実施予定です

質問（赤松議員）

新町建設計画について町民の皆さんに約束したことについて、どのように考え、どのように実行していくのか。

答弁（町長）

限られた予算の中で最大限の努力はしている。新年度は光ファイバーの振興、保育所の整備、コミュニティバスの運行などを計画しています。

問 交通問題について

〔答〕 要望をしていきたいです

質問（赤松議員）

新年度予算でコミュニティバス運行について提案しているが、大崎上島交通問題協議会での答申とかけ離れているが、答申をどのように考えているのでしょうか。

住民の要望についてどのように把握しているのか。

答弁（町長）

実態は良くわかっていて、各社に要望を出していきます。

コミュニティバスについて、将来財政的負担にならないような運行をしていきたい。



問 不足医療について

〔答〕 可能なものから実施

質問（赤松議員）

不足医療について耳鼻科、眼科について新年度予算で提案しているが、住民の要望についてどのように把握しているのか。

答弁（町長）

眼科は医師が出張で来る、ことが出来る範囲で実施する。透視施設は患者一人当たりの投資が多すぎるので、現時点では困難です。

問 町の説明責任について

〔答〕 反省しています



ふくまつ すずむ 議員
福増 進

説明責任が果たされていると考えているのか伺いたい。

答弁（町長）

議員さんの納得を得られる説明でなかったことを反省し、再度説明の機会を設定して資料等を提出させていただきます。今後このようなことがないよう努めます。

質問（福増議員）

当初予算で計上しているコミュニティバスについて、3千万円近い予算でありながら内容についての資料などがお粗末過ぎる。これで

町の振興策について

答 各種団体と協議する



尾尻 公雄 議員

質問（尾尻議員）

町の産業としてハウス農業や造船業がありますが、造船所には外国から働きに来ている人が多くいます。町の若者の雇用の機会を与えるためにも造船技術者養成所へ行くよう進めてはどうか。

答弁（町長）

上島地域農業振興協議会と具体的な協議を持つことができれば対応したい。また、上島海運振興協議会、造船共同組合とも話をしていきたい。

土地の有効活用について

答 具体的に検討する

質問（尾尻議員）

町の長期総合計画で総合的で計画的な土地の有効利用を目指す、あるが、具体的な考えは。

答弁（町長）

町有地にも民間で活用するか公共的に将来どうするか分けることも必要。財産の整理するよう準備している。

交通体系について

答 新しい航路は困難

質問（尾尻議員）

基本計画には、長島から芸津の赤崎への航路がはいっていないが、架橋構想よりも、こちらのほうが良いと考えるが町長の考えを伺います。

答弁（町長）

航路の確保は必要であるが、安芸津の区域が中央港湾の区域まで包括されないと聞いている。国・県が新

しい大きな事業を想定することは考えにくい。実現は難しいと認識する。

福祉行政について

答 進めています

質問（尾尻議員）

県下で最初に町に福祉事務所が設置されましたが、町民が快適な生活をしているか調査してはどうか。また、住宅事情も合わせて調査しては。

答弁（町長）

福祉事務所については、県からの支援もいただいで混乱なく業務に慣れてきていると考える。

今年が国勢調査の年です

ので、その中に住宅についての調査項目がある。ただ、結果が1年後ぐらいになるのだが、全体の状況把握には有効と考えます。

教育問題について

答 検討する

質問（尾尻議員）

保育園、幼稚園の統合を

早期に実現すべきではないでしょうか。最近になって国にも動きがあるが、人より一歩前に行く気構えが必要なのではないか。

中学校の統合もしかり、学校の位置も将来のことを考え、東野白崎（脇之浦地区）に建設してはどうか。

中学校の位置については意見交換会で様々な意見が出ていました。今後十分意見検討して位置の決定をします。

保育園、幼稚園の問題も今後の課題であると認識しています。

答弁（教育長）

保育園、幼稚園の問題も今後の課題であると認識しています。

中学校の位置については意見交換会で様々な意見が出ていました。今後十分意見検討して位置の決定をします。

職員の適正配置について

答 努力していく

質問（尾尻議員）

インターネット網整備、活用、土砂搬入手数料条例、高潮被害の対策についても職員の配置に問題があるのではないか。納得のいく職員配置をして欲しい。

答弁（町長）

それぞれの立場で努力はしております。

各種団体の長の兼任廃止について

答 各種団体の自主性に

質問（尾尻議員）

各区長、副区長については議員の兼任は禁止すべきであり、黙認すれば議会制より区長を中心とした総代制がよいという流れになると危惧している。整理しては。また、他の団体の長に議員が兼務しているのはいかなるものか。合併で町が大きくなり人材は豊富です。整理してはどうか。町長の考えは。

答弁（町長）

各区の事情もあるので、お任せしている。また、他の組織については評議員なり理事の選考をされているわけですから、結果については言えません。色々議論があるとすれば選考の過程で協議していただきたい。

問 高潮対策に対する今後の計画について

〔答〕 県へ強く要望しています



ながお まなぶ 議員
長尾 学

あるのか。宇浜集会所の建設が計画されているが、建設前に高潮対策をすべきと思うが計画は。

〔答弁（町長）〕

17年度は現在継続事業として行っていますが、18年度以降の新規は未定です。宇浜集会所は現在の場所へかさ上げして建設する予定です。

質問（長尾議員）

昨年は台風による高潮被害があり今年も予想される災害です。

17年以降に町県の計画が

問 盛谷農道の早期完成を

〔答〕 申請の準備中である

質問（長尾議員）

盛谷農道は14・5年前に計画されたが、入り口で中止となっている。

住民の要望もあり、再度計画を進めるべきでは。

〔答弁（町長）〕

現在、中山間地の地域総合整備事業という計画の中で、取り組む予定である。一度やめたら再度とりかかるとするのは難しいが、申請手続きを進めている。

問 開発センターの調理室の改造を

〔答〕 検討する

質問（長尾議員）

大崎上島開発センターの調理室は利用度が高い割には狭く調理台等の設備が古い。

利用者と話合って、リニューアルすべきと思う。また、隣の和室を利用して、

広く衛生的な調理室にし、生涯学習に体制の充実に取り組んではどうか。

〔答弁（町長）〕

活動しやすいように整備していきたいが、実態をよく調査し、検討していきたい。

問 京都議定書発効に町としての対応は

〔答〕 取り組んでいきたい



もりおか いえただ 議員
森川 家忠

えているか。

また、ごみの減量化、リサイクルについての取り組みはどうなっているか、広域でリサイクル計画を策定すると聞くがどのような内容なのか伺います。

質問（森川議員）

京都議定書が発効され、町として様々な対応が考えられるが今後どのように考

〔答弁（町長）〕

本町ではエネルギービジョン策定を16年度から行っています。また、公衆



開発センター 調理室

衛生推進協議会でも、啓発活動に取り組んでもらっています。3月には地球温暖化対策地域協議会を設立の予定で、啓発を進めていくことが大切と認識しています。

廃棄物の関係は広域行政組合でまとめています。

リサイクルですが、ごみ分別の中に位置づけてはいますが、具体的には検討中です。

問 若者定住と子育て支援の特別施策を

〔答〕 福祉・教育面で考える



まつもと すすむ 議員 松本 進

質問（松本進議員）

若者の定着と子どもの増加のための特別な施策をすべきでは

- ①奨学金制度で町内に就職すれば返済免除とか減額措置をする。
- ②結婚や出産に対して祝い金や支援費制度を設ける。
- ③港近くに島外通勤に便利な住宅を建設するなど、島に住み通う人たちに便宜を図る。
- ④地場産業への雇用拡大の機会を設ける。

答弁（町長）

- ①②については、旧木江

問 明日の大崎上島町をどう取り組むか

〔答〕 発展に向け勉める

質問（松本進議員）

- 町時代に実施したが、定住には結びつかなかった。それより福祉的な手立てと教育的配慮ということで進めています。
- ③④は今の状況では厳しい。しかし、既存の産業の内航造船海運は知名度も高く、島の産業を大切にするという視点で最大限取り組みたい。
 - ①「大崎上島町」を発展させるために何をしていくか。
 - ②行政事務の執行の迅速化、サービスの向上は。
 - ③町4役の意識改革で街づくりの推進を。
 - ④長期総合計画の取り組みと町民への説明責任をどうするののか。

問 地域通貨制度を導入しては

〔答〕 考えていない

質問（松本進議員）

地域通貨制度を導入しまして、地域の活性化につなげてはどうか。

「おと姫カード」の利用状況、経済効果はどうか。より効果的なとりくみは。島の中で購買、経済循環して、地域にお金が落ちて活かせる仕組みを考えるべきでは。

答弁（町長）

町の制度として作っていくことは考えていない。

おと姫カードの加入店は99事業所です。

答弁（商工観光課長）

地域通貨は地域活性化に有効的である。また、消費者ニーズに立った経営も必要である。

必要。町職員は取りまとめ役として重要である。

- ②③合併で市町村が減少し、権限委譲もあるので、職員の資質向上も必要である。

- ④長期総合計画は多くの方に協力、提言をもらっている。町民の皆さんへも概要を知らせていきたい。
- ⑤行政は議会と執行部が地域のためにお互いが両輪となって進めていけば発展につながると思うので、よろしくお願いしたい。

答弁（町長）

- ①町には人材は多いが、そのネットワークづくりが

問 交通問題の抜本的改善と早期導入できることの実施を

〔答〕 試行運転をしながら改善をしていく

質問（松本進議員）

船関係の料金制度、割引制度。バスの利用しやすいものへの改善、効率性の発揮。バス、船の連絡体制。無理のない乗降時間設定。

島内均一料金の導入。フリーバスの拡大、バス利用促進の検討会議の発足。交通問題会議の十分な活用と利用者等の声を聞くモニ

答弁（町長）

試行運転をしていく中で、問題点を見つけ、協議していききたい。対外的なものについては調整やお願いをしている。

大崎上島町議会議員

3月20日の大崎上島町議会議員選挙において、新たな議員16名が決まりました。
平成17年4月1日から平成21年3月31日までの4年間、大崎上島の町政の発展のために活動していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



ふりがな まつばら しげる
名前 松原 茂
住所 中野 1841-7



ふりがな あかまつ よしお
名前 赤松 良雄
住所 原田 2-13



ふりがな ふじわら たつひで
名前 藤原 龍秀
住所 木江 315



ふりがな もりかわ いえただ
名前 森川 家忠
住所 木江 234-19



ふりがな くまさ たかのり
名前 熊佐 尊徳
住所 中野 1189-2



ふりがな にしだ たくみ
名前 西田 巧
住所 明石 1852-2



ふりがな のぶたに としき
名前 信谷 俊樹
住所 明石 2493



ふりがな まきた あつお
名前 蒔田 篤雄
住所 東野 1720-6



ふりがな わたなべ としのり
名前 渡辺 年範
住所 東野 163-1



ふりがな どい た せいじ
名前 土井田 聖次
住所 原田 1012



ふりがな なかむら しゅうじ
名前 中村 修司
住所 中野 4926-3



ふりがな たつた しんじ
名前 辰田 真司
住所 大串 641-2



ふりがな ますもと まこと
名前 増本 真
住所 東野 5480-7



ふりがな はまだ あきとし
名前 浜田 明利
住所 東野 1211



ふりがな ふくす すすむ
名前 福増 進
住所 東野 578



ふりがな たにもと まさし
名前 谷本 昌
住所 木江乙 259